

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
<b>支え合いの気持ちをつむぐ</b>							
自発的・主体的な地域福祉活動に向けた啓発							
心のバリアフリーの推進	○		○	地域・障害	都立武蔵高校、桜野小学校など計6団体に対し出前講座を実施し、延べ850人が受講しました。この他啓発講座として「パラリンピックへの道」などを開催しました。	継続実施	
福祉学習・ボランティア学習の推進				地域・高齢	・市民社協ではふれあい福祉学習検討委員会を設置し、小学校7校(14回延べ1090名)、中学校2校(3回延べ495名)の福祉学習に取り組みました。また、認知症の方への声かけ訓練では7名の小学生の参加がありました。 ・施設介護サポーター養成講座を2施設で実施しました。	継続実施	
市民が主体となる地域福祉活動の推進							
障害者団体やボランティア団体等の活動支援の充実				地域・障害	障害者団体やボランティア団体等の講演会活動を支援すると共に、障害者福祉センターにおいて、施設・機器貸出、ボランティアを育成するための各種講座を開催しました。	継続実施	
市民社協との連携強化	○			地域	定期的に市(地域支援課)と市民社協で情報交換する場を持ち、連携強化を図りました。	継続実施	
様々な「場」(活動、機会など)づくりの支援	○	○		地域	市民社協において、居場所づくりの実践に対して行う具体的な支援について検討を行いました。	継続実施	
テンミリオンハウス事業の推進				高齢	1施設の運営団体を公募し、現運営団体が継続して行うこととなりました。	継続実施	
地域福祉活動を推進する仕組みの検討				地域・高齢	市民社協地域福祉活動計画策定において検討を進めました。	継続実施	
民生委員、赤十字奉仕団、地域社協の活動支援			○	地域	・民生委員については、5月に市報やPRイベントとして無料相談会を実施し、民生委員活動の広報に努めました。 ・赤十字奉仕団については、平成25年5月に市役所ロビーにてPRイベントを行いました。 ・地域社協については、引き続き活動費の助成を行いました。(市民社協)	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
地域の人のつながりづくり							
孤立予防の推進	○	○		地域・高齢・障害	武蔵野市孤立防止ネットワーク連絡会議を開催し、ライフライン事業所、住宅事業所等との連携体制の構築を図り、順次協定を結んでいます。また、新たに弁当宅配事業者と居宅介護支援事業者連絡会も協議会に入りました。	継続実施	
老人クラブへの活動支援				高齢	老人クラブの活動事業への助成、シルバーシティプラン推進事業等を行いました。	継続実施	
世代間交流の推進				高齢	テンミリオンハウスでの交流、境南小でのふれあいサロン及び6中で高齢者パソコン教室を実施しました。(4日間延24名受講。中学生助手延91名)	継続実施	
防犯対策の充実				高齢・障害	安全対策課、生活経済課(消費生活センター)、地域包括・在宅介護支援センターで、消費者被害や予防・対応策についての情報交換会を実施しました。	継続実施	
安全・安心ネットワークの推進				障害	市報及び広報誌「つながり」等において、要援護者支援事業の周知を行いました(平成25年度新規登録者数16名。登録者数191名)。	継続実施	
緊急時対応システムの充実				障害	身体障害者の居宅に常時作動する緊急通報装置の設置は利用者がありませんでした。障害者の位置を探索するため、端末機を貸与しました(貸与者69名)。	継続実施	
多種多様な健康づくり活動との連携強化	○			健康	「健康づくり活動情報誌」を活用し、市民への情報提供を実施しました。	継続実施	
健康づくり活動における仲間づくりの推進			○	健康	健康づくりはつらつメンバーの集いを実施し、はつらつメンバー同士が知り合う場の提供を行いました。 「健康づくり活動情報誌」を活用や健康づくり推進員活動を通して、健康づくり活動における仲間づくりを行っています。	継続実施	
地域の力を活かした健康づくり運動の推進	○		○	健康	民間スポーツクラブを活用した高齢者向け運動プログラムにおいて、プログラム終了後も運動が継続できるように関係機関と連携しました。	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
災害時要援護者対策の推進							
安否確認体制の推進				地域	地域社協を単位として要援護者情報の更新及び支援者探しを実施するとともに、安否確認訓練や支援者説明会を実施しました。	継続実施	
災害時要援護者対策の全体像の検討	○			地域	住民系情報システム導入により、リアルタイムな情報収集ができました 災害対策基本法改正により、新たな課題を抽出しています	継続実施	
福祉避難所の充実			○	地域・高齢・障害	災害時備蓄品の分散配置を行い、総合防災訓練にて福祉避難所の開設・運営を行い、マニュアルの検証を行いました。	継続実施	
誰もが地域で安心して暮らしぶけられる仕組みづくりの推進							
在宅生活支援のネットワークづくりの推進							
地域連携協議会(仮称)による課題解決に向けた仕組みの構築	○	○		各課	在宅支援連絡会において緊急医療情報シートの作成・モデル事業の実施、一時入院支援ガイドラインの作成を行い、災害時における関係機関の対応について情報共有を図りました。	継続実施	
在宅支援ネットワークの充実	○		○	高齢	地域包括ケアシステム検討委員会を設置、協議をしました。	継続実施	
家族介護支援事業の充実				高齢	ガス利用状況お知らせサービス利用料助成を実施しました。利用者6名。	継続実施	
移送サービス(レモンキャブ)事業の推進				高齢	1460回/月運行しています。(9台) 会員数は878名です。	継続実施	
地域自立支援協議会への活動支援	○			障害	くらす・はたらく・権利擁護・相談支援・障害当事者の専門5部会の活動の支援をするとともに、支援員の質の向上を図るための講演会・講習会等開催のための支援を行いました。また、くらす部会の提言によりヘルプカードを作成をしました。	継続実施	
高次脳機能障害者や発達障害者等に対する支援の質的向上				障害	・高次脳機能障害関係機関連絡会を1回開催しました。 ・医療機関や福祉施設の職員など計81人が参加して事例報告、技術研修等を行いました。	継続実施	
医療ネットワークづくりの支援				健康	武蔵野赤十字病院の三次救急機能を維持し、インフルエンザの流行による患者の増加に対応するため、平成26年1月26日～2月23日の日曜・祝日に休日診療所と調剤薬局をそれぞれ2か所増設しました。	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
市民の地域医療に関する理解の促進		○		健康	健康講座による救命救急法の教育や、母子健康手帳交付時に救急受診ガイドの案内カードの配布を行っています。	継続実施	
相談機能のネットワークの強化	○	○	○	地域・障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅支援連絡会に地域活動支援センターが参加し、事業所間の関係づくりを強化しました。</li> <li>孤立防止ネットワーク会議、虐待防止連絡会を定期的で開催し、関係機関のネットワーク強化を図りました。</li> <li>基幹相談支援センターと地域活動支援センターと連携により、各相談支援事業所のサポート及び、ネットワークの強化も図りました。</li> </ul>	継続実施	
情報提供・情報収集の仕組みの構築			○	地域	孤立防止のネットワークにおいては、連絡先を地域包括支援センター、機関相談支援センター、子ども家庭支援センターに集約する工夫を行いました。	継続実施	
財政援助出資団体との連携強化				地域	健康福祉部関連法人会議を4回開催し、情報共有を図りました。	継続実施	
障害ケアマネジメントの標準化と推進	○		○	障害	地域自立支援協議会相談支援部会と連携し、障害の種別に関わらない普遍的なケアマネジメントと、障害特性を考慮したケアマネジメントについて検討を続けています。標準化までには至っておらず、検討を継続します。	継続実施	
地域活動支援センターの機能の充実				障害	月1回の定例会議を継続しています。対象者を機能的に分担している2か所のセンター間の協力体制の確立と、基幹相談支援センターとの連携体制について協議しました。	継続実施	
情報保障の充実				障害	手話通訳者等の養成及び普及を図りました。今年度は通院や訪問看護など医療の場での通訳依頼が多くありました。通訳者も研修会などを通してスキルアップを図っています。	継続実施	
サービス提供事業所の参入促進				障害	新たに指定した3か所を加え、市内の指定特定相談支援事業所を6か所に増やしました。市外の事業所にも、積極的に計画相談について参入を促しています。 また、初めて精神障害者を対象とした、日中一時支援事業を展開する事業者と事業協定を結びました。	継続実施	
自立生活体験の充実				障害	「井の頭はうす」で4名、「桜はうす・今泉」で2名が自立体験をしました。「桜はうす・今泉」では自立度の高い方が自活型の体験事業を実施して、大変好評でした。希望者が多いので来年度も継続していきます。	継続実施	

健康福祉総合計画2012  
事業実施状況（平成25年度）

平成26年 3月 5日  
健康福祉総合計画推進会議  
資料 2

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
サービスの利用促進	○			障害	特にサービスにつながりにくい精神障害のある方への訪問を積極的に行い、サービス等利用計画を作成し、有効なサービス利用の支援を行いました。訪問実人数(4～12月):432人(79人増) ( )内は24年度同時期との比較。	継続実施
地域生活支援事業の充実				障害	知的ガイドヘルパー養成研修2回、同行援護従業者研修1回、同行援護従事者レベルアップ研修を1回実施しました。応募数が伸びないため、来年度は開催時期を見直します。	継続実施
障害児への支援						
児童発達支援センターを中心とした地域療育システムの構築	○		○	障害	25年4月にハビットが指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所を開設し、26年1月末までに12件の計画を作成しました。25年度中に「相談支援専門員」は2名となり、来年度はさらに計画作成対象者を増やしていきます。	継続実施
保育園・幼稚園における障害児保育の支援				障害	ハビットでは施設巡回、地域支援講習会2回(10/17、2/24)を実施しました。施設巡回は希望する園が年々増えているため、回数や方法を見直していきます。	継続実施
母子保健・子育て・教育部門と療育部門が連携した就学支援事業の推進	○			障害	就学支援シートの活用を図り、ハビットでは1月までに20件作成しました(昨年は8件)。地域リハビリテーション子どもチームが2/13に「療育ミーティング」を開催し、保育園、幼稚園をはじめとする母子保健・保育など子育て支援機関の関係者141名が参加しました。市の母子保健について学び、ハビットの実践報告を聞き、療育について考える機会を持ちました。	継続実施
特別支援教育・発達障害児(者)の相談事業等との連携強化				障害	教育支援センターとハビットの意見交換会を実施(1回)しました。	継続実施
放課後対策の充実				障害	地域デイの補助事業が終了するため、日中一時支援事業に移行する支援をしました。放課後参加できるプログラムが増えるよう支援を続けていきます。	継続実施

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
認知症高齢者施策の推進							
相談事業の充実	○		○	高齢	認知症相談事業を実施しました。	継続実施	
早期発見・早期診断のための受診・サポート医システムの推進	○		○	高齢	「もの忘れ相談シート」の定着利用について協議しました。	継続実施	
認知症疾患医療センターとの連携	○	○		高齢	北多摩南部地域認知症連携会議を開催しました。	継続実施	
普及・啓発の推進	○		○	高齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーター養成講座では、昨年講座を開催した市民メイトによる自主的な講座が多く開催されました。</li> <li>・フォローアップ講座では、地域の住民と協働し認知症の方への声かけ講座を2カ所で行いました。</li> <li>・両講座ともに市民が自主的に参加し、運営しています。</li> </ul>	継続実施	
在宅生活支援の充実	○		○	高齢	認知症高齢者見守り支援事業では、より利用しやすいよう運用見直しを行いました。	継続実施	
権利擁護事業・成年後見制度の利用促進と現状を踏まえた事業の見直し							
権利擁護事業・成年後見制度の利用の促進	○		○	地域・高齢・障害	成年後見推進機関である福祉公社への事業費補助を行ったほか、成年後見の市長申立てを9件実施しました。	継続実施	
市民後見人の育成		○		地域	東京都実施の社会貢献型後見人養成講習に4名参加しました。来年度以降は近隣市と共同で市民後見人育成を行っていく予定です。	検討	
虐待防止の推進	○	○	○	地域・高齢・障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障害者虐待防止連絡会議を合同で開催し、年間2回程度の定例会としました。また、関係機関職員向けに虐待防止の基礎知識に関する講演会を行いました。</li> <li>・平成24年10月1日付で、障害者福祉課内に設置した虐待防止センターでは、25年度6件、累計11件の通報、相談を受け付けました。うち9件は虐待とは認定されませんが、早期の相談窓口として機能しています。2件について、養護者とともに支援のためのケースワークを行っています。</li> </ul>	継続実施	
福祉資金貸付制度の見直し		○		高齢	福祉公社で有償在宅福祉サービス事業の見直しを検討しています。それを受けて市の方針を決定していきます。	継続実施	

健康福祉総合計画2012  
事業実施状況（平成25年度）

平成26年3月5日  
健康福祉総合計画推進会議  
資料2

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
生活困窮者への支援							
様々な制度の活用				生福	住宅支援給付事業及び低所得者・離職者対策事業を実施しました。 住宅支援給付事業実績(26年1月末) 27人 延べ112月 6,240,700円 低所得者・離職者対策事業(25年12月末) 受験生チャレンジ貸付35件	継続実施	
障害者総合福祉法(仮称)への取組み							
障害者自立支援法からのスムーズな移行支援		○		障害	障害福祉サービスの対象に難病患者等が加わり、対象疾患が130疾患に拡大されました。市民対象に、市報、チラシ等で周知を図り、大きな混乱はありませんでした。また、ケアマネジャーに対する広報も行いました。結果、介護保険のみでは不足する支援を、いわゆる上乗せで補完し、在宅支援を強化しています。これまで、他の制度で対応不可能であった難病者について、障害福祉サービスにつながったケースは1件です。	継続実施	
誰もがいつまでも健康な生活を送るための健康づくりの推進							
子どもの健康をまもる施策の推進							
妊産婦への支援の充実				健康	支援の必要な特定妊婦を早期発見し、子ども家庭支援センターと連携し支援を充実しました。	継続実施	
母子保健事業の推進				健康	要支援家庭の早期発見に努め、個別支援を充実しました。	継続実施	
学校保健との連携強化				健康	市内中学校を対象に、薬物乱用防止に関するポスター、標語の募集を行い、ポスターは67点、標語は221件の応募がありました。	継続実施	
小児・産婦人科救急医療の充実				健康	武蔵野赤十字病院に補助金を支出し、365日24時間の小児救急医療体制、及び産婦人科救急医療の確保に努めています。	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
予防を重視した健康施策の推進							
予防を重視した健康診査の推進	○			健康	特定・後期高齢者・若年層健康診査を実施しました。特定保健指導については民間事業者に委託し実施しました。	継続実施	
市民の生活習慣に関する意識啓発	○			健康	健康診査の勧奨通知等を通して、受診の動機づけと意識啓発に努めました。	継続実施	
がん検診の充実	○		○	健康	昨年度に行ったがん検診に関する意識調査に基づき、有効なメッセージを数種類作成し、子宮がん検診の個別勧奨に活用しました。	継続実施	
がん検診の精度管理の推進	○			健康	予防に効果的ながん検診を実施するため、国の指針に沿ったがん検診が実施できるよう、関係機関との調整を行いました。	継続実施	
武蔵野健康づくり事業団との連携による一次予防の充実				健康	武蔵野健康づくり事業団と連携し、各種健康づくり支援事業を実施しました。	継続実施	
喫煙対策の推進		○		健康	禁煙を希望する市民に対し、市内医療機関の禁煙外来一覧や禁煙のコツなどについて市ホームページで周知する予定です。	検討	
予防接種における疾病予防の推進				健康	ヒブ、小児用肺炎球菌等新たに定期接種化された予防接種を混乱なく実施しました。	継続実施	
介護予防事業の見直しと高齢者の健康づくりの推進	○		○	健康・高齢	・健康づくり事業団、歯科医師会、柔道接骨師会等の関係団体との協力のもと、健康づくり支援事業を行いました。 ・介護予防事業の見直しのため、部内ワーキングを設置し検討を行っています。	継続実施 検討	
社会活動センター事業の推進				高齢	自主グループ作りに向けて、環境整備を行っています。	継続実施	



健康福祉総合計画2012  
事業実施状況（平成25年度）

平成26年3月5日  
健康福祉総合計画推進会議  
資料2

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
食育の推進							
「食」に対する市民意識向上への取組み	○			健康・高齢	・高齢者食事学事業を実施しました。 ・食育標語を用いた普及・啓発や市民の参加できる事業を実施したほか、庁内食育担当課連絡会議を2回開催しました。	継続実施	
家庭における食育の推進	○		○	健康	40代、50代を対象に「食育講演会」を実施しました。	継続実施	
学校における食育の推進	○			指導・教育支援	・給食・食育フォーラム、給食・食育フェスタを実施しました。 ・栄養士・調理員がクラスを訪問し、栄養指導等を行いました。 ・給食で季節の行事食を提供し、伝統的な食文化を伝えました。 ・学級担任が総合的な学習の時間をはじめ、社会科や生活科、家庭科の授業で、栄養士と協力して食の指導を行いました。	継続実施	
地域における食育の推進	○	○		健康	「Musasinoごちそうフェスタ 物産・逸品市」に参加し、武蔵野市の食育標語に関するクイズと食育に関するアンケートを行いました。	継続実施	
こころの健康づくり							
メンタルヘルスに関する市民の意識の向上と知識の普及			○	健康・障害	・市民こころの健康支援事業において、テーマ講座を2回、出前講座を5回開催しました。 ・職員とともに民生委員・児童委員にもゲートキーパー研修に参加してもらい、意識の向上に努めました。（8名参加）	継続実施	
相談窓口・相談機関の連携強化				健康	・庁内ゲートキーパー研修を2回実施しました（1回目44名、2回目55名参加）。 ・庁内の連携強化を目的に、こころの健康づくり庁内連絡会議（年2回）を継続実施しています。	継続実施	
こころの健康相談事業の充実				障害	市民に対する広報に努めるとともに、委託している事業実施者に対する定期ヒアリングを継続し、事業内容のチェックを行いました。1月末現在電話相談数44件(30減)、面接相談数13件(4増)と全体利用実績が低下しており、26年度において広報手段、相談支援体制、内容の改善を予定しています。	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
<b>誰もが地域でいきいきと輝けるステージづくり</b>							
高齢者・障害者の活動支援の促進							
キャリア活用による社会貢献活動の推進				地域・高齢	・6月にお父さんお帰りの会パーティを開催、20以上の団体が参加しました。 ・毎月第2土曜におとぼサロンを開催し、平均約20名の方が参加しています。	継続実施	
各種講座のメニューの多様化				障害	障害者福祉センターの地域活動支援事業において障害者向けの各種講習会を実施しました。出来るだけ多くの方が参加できるように講座のメニューや会場、開催日時などを工夫しました。	継続実施	
自主グループへの支援		○		障害	「絵の会」、「ジャンプモモの会」などに活動場所の提供を行っています。また、「絵手紙虹の会」については参加者の送迎を実施しました。	継続実施	
余暇活動の充実				障害	生涯学習振興事業団で障害者を対象としたスポーツ講座（ポールエクササイズ）が実施されました。	継続実施	
外出支援の充実				障害	・知的ガイドヘルパー養成研修2回、同行援護従業者研修1回、同行援護従事者レベルアップ研修年1回をそれぞれ実施しました。 ・リフトタクシー3台の運行に際して、事業費の一部を支援しました。	継続実施	
引きこもりサポート事業の充実	○			障害	家族セミナーを7回、市民向けフォーラムを2回企画しました。また今後は吉祥寺ハモニカ横丁に期間限定で店を開くなど新しい企画を提案しています。	継続実施	

長計施策							
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度	
健康福祉総合計画事業							
高齢者・障害者の雇用・就労支援							
就労支援の充実				高齢	シルバー人材センターに運営費の補助を行うとともに、市の事業を委託し就労を支援しました。	継続実施	
就労支援ネットワークの充実	○			障害	障害者就労支援ネットワーク会議を2回開催し、関係機関との連携を深めています。	継続実施	
障害者庁内実習の充実	○			障害	12月2日～12月13日・1月27日～2月7日の間で2回、各回2名計4名で実施しました。今年度は単独の課での受け入れを試行しました。	継続実施	
職場体験実習先等の確保	○			障害	11/1「障がい者の就労を考えるつどい」（参加者148名）では、ハートフル実習から就労につながった事例を企業と一緒に発表し、今後の雇用に向けて理解を進めました。	継続実施	
就労支援事業所の整備推進	○			障害	特別支援学校卒業予定者数の把握及び就労意向調査を行い、卒業生数に見合った就労先の確保に努めています。また就労事業所の家賃を補助を継続していきます。	継続実施	
障害者就労支援センターにおける支援の質的向上	○			障害	職員研修や各種研修会への参加を通して支援の質的向上を進めています。センターにかかわる法人間での情報交換も定期的に行っています。	継続実施	
住み慣れた地域での生活を継続するための基盤整備							
サービスの質の向上							
福祉人材の育成	○		○	各課	各種研修会・講習会を実施しました（重点的取組み（資料1参照）。	継続実施	
苦情対応・相談機関の充実				地域・高齢	・福祉全般の苦情対応機関である福祉公社では、2件の苦情がありました。また、福祉公社ホームページにてPRを行いました。 ・高齢者支援課内に専門資格を有し、実務経験3年以上のサービス相談調整専門員を配置し、相談、苦情に対応しています。	継続実施	
第三者評価受審の促進				高齢・障害	・高齢者分野では、事業者第三者評価の受審費の助成を行いました。 ・障害者分野では、日中活動系サービス事業者及び放課後等デイサービス・児童発達支援事業者の受審費用を助成することにより、受審を促進しています。	継続実施	

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
在宅生活を支えるサービスの充実	○	○		高齢	・24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護は24年4月からサービス提供を開始しています。 ・小規模多機能型居宅介護整備事業者(グループホーム2ユニット併設)を公募しましたが、応募はありませんでした。	継続実施
居住安定への支援				高齢	民間賃貸住宅入居支援制度、マイホーム借り上げ制度などに取り組んでいます。	継続実施
介護サービスの適正化				高齢	居宅介護支援事業者への実地指導を6事業者実施及び、居宅介護支援事業者及び訪問介護事業者への情報提供を含む集団指導を全体研修会や地区別ケース会等において実施し、介護サービスの適正化の視点での支援を行いました。 ・第1回ケアマネジャー全体研修会：平成25年7月10日124名参加 ・第1回訪問介護事業者連絡会議研修：平成25年6月26日98名参加 ・居宅介護支援事業者・訪問介護事業者合同研修会：平成25年10月28日121名参加	継続実施
保険者機能の強化				高齢	24年度に介護サービス担当を介護保険係内へ組織変更し、保険者としての指導監督機能を強化し、訪問介護事業所6か所、地域密着型サービスへの実地指導2か所を実施。東京都による集団指導を2回実施、東京都が実施する事業者への実地指導に立ち会いました。	継続実施
サービス提供事業所の育成及び指導監督			○	障害	東京都が実施する事業者への集団指導や実地指導に同席しました。	継続実施
サービス基盤の整備						
くぬぎ園など「公共施設配置の基本的な方針」に基づく施設の整備				高齢・障害	入所者の住替え支援を行っています。 庁内にくぬぎ園跡地活用検討委員会を設置し、庁内での跡地活用の方向性を検討しました。	継続実施
グループホーム・ケアホーム等の整備推進	○		○	障害	25年12月に「きたまちハウス」(定員14名)が開所し、重度の知的障害の方が入居しました。同施設ではショートステイ枠2名を用意し、グループホームを体験する事業にも活用していきます。	

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の推進				まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー基本構想に基づき、平成23年度から平成27年度までに実施する前期特定事業計画を推進するため、建築物特定事業計画について、市立施設の工事進捗状況の調査と、バリアフリー改修工事の見積り作成を行いました。</li> <li>三鷹駅北口エスカレーター上り号機が、平成5年の供用開始から20年が経過したため、大規模改修工事(主要機器取替)が進行中です。</li> </ul>	継続実施
歩行者を対象とした公共サインの整備				まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉祥寺駅北口駅前広場に、武蔵野市公共サインガイドライン(平成24年4月策定)に準拠した点字・音声案内付きの総合案内板を平成26年度に設置予定であり、その盤面作成及び設計を行いました。</li> <li>公共サインガイドラインに基づき、市立施設に係る公共サインの維持管理のためにサインの点検を各課にて行い、それを記録した点検済シートを取りまとめました。</li> </ul>	継続実施
バリアフリーマップの改定				地域	市民社協第3次地域福祉活動計画中間報告書に今後検討する旨を記載しました。	検討
多様な危機への対応の強化						
健康危機への対応						
非常事態下における市民の健康維持の支援	○			健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合防災訓練(医療訓練)を関係機関と実施し、反省会を参加関係機関と実施しました。</li> <li>防災課と共管で災害時医療対策検討委員会を設置し、災害救護活動に関することを検討しました。</li> </ul>	継続実施
健康危機管理に関する普及・啓発	○		○	健康	6月1日～9月15日号市報などにおいて熱中症の注意喚起を行いました。公共施設のロビーなどを、「武蔵野いっとき避暑地」として外出時の休憩に利用できるよう調整を行いました。	継続実施
新型インフルエンザへの対応	○			健康	6月に対策本部条例を制定し、行動計画について、北多摩南部保健医療圏内の6市による検討会を実施し、素案を作成しました。	継続実施

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
<b>第5期介護保険事業計画</b>						
介護保険事業の運営						
人口と被保険者数の推移				高齢	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総人口 140,598人(138,582人)</li> <li>65歳以上人口 29,743人(28,690人)</li> <li>○被保険者数(40-64歳は人口)</li> <li>40-64歳 47,648人(46,875人)</li> <li>65-74歳 14,340人(13,657人)</li> <li>75-84歳 10,633人(10,479人)</li> <li>85歳以上 4,911人(4,787人)</li> <li>○高齢化率 21.1%(20.7%)</li> <li>○後期高齢化率 11.0%(11.0%)</li> <li>*人口は市民課データ H25.10.1現在、( )内はH24.10.1現在データ</li> </ul>	
介護予防事業の状況				高齢	運動機能の向上、栄養改善、口腔機能向上等、目的別予防事業を実施しました。	
武蔵野市の介護保険給付の特徴				高齢	本市は、在宅サービス・施設サービスともに被保険者一人あたりの給付月額が全国平均を上回っています。これまでの在宅重視の施策の推進とともに、近年の施設整備により施設サービスも充実し、在宅サービス・施設サービスともに利用率が高いことが特徴です。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P94～P95))	

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
介護保険事業会計の推移				高齢	給付費の増加に伴い、法定負担割合で割り当てられる一般会計からの繰入金も上昇しています。平成24年度は保険料上昇の抑制に資するため、都より特例で交付された財政安定化基金交付金(92,936千円)全額を介護給付費に充当しました。介護保険事業会計平成24年度実績は、9,410,278千円、保険給付費8,833,280千円(対前年度比106.2%・計画値96.4%)と増加しています。、計画値とほぼ同一の数値となっています。平成25年度予算現額は1,055,390千円、保険給付費9,481,411千円となっており、介護保険事業会計の推移は年々増加する見込みとなっています。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P100))	
第5期介護保険事業計画の展望と推計						
第5期介護保険事業計画の基本的方向性				高齢	できるだけ在宅生活を継続するためのサービスを重視し、地域密着型サービスの充実を図るとともに、介護費用の上昇が見込まれる中で、給付と保険料のバランスに配慮し、効率的・効果的にサービス基盤の整備を行っていきます。定期巡回・随時対応型訪問介護看護は、平成24年4月よりサービス提供を開始し、25年12月末時点の登録者数は13名となっています。(武蔵野市健康福祉総合計画2012(P101))	
介護保険の財源構造と保険料の推計方法				高齢	第5期介護保険事業計画期間の保険料の設定は、第4期事業計画期間における給付費の実績及び所得段階別被保険者数の推移に、第5期事業計画の基本方針及び新たに加味すべき要素を加え推計を行っています。(武蔵野市健康福祉総合計画 第7章第5期介護保険計画2012 第2項 (2)(P102～P113)の手順のとおり)	
人口と被保険者数の推計				高齢	『人口と被保険者数の推移』の欄を参照。 平成25年10月1日の推計値 ○65歳以上の人口 29,545人(外国人 128人を含む) ○被保険者数(40～64歳は人口) 40～64歳 46,953人 65～74歳 14,281人 75～84歳 10,632人 85歳以上 4,997人 H25年度の65歳以上人口、高齢化率とも、ほぼ計画値どおりに推移しています。 平成24年7月9日、改正住民基本台帳法の施行と外国人登録法の廃止により統計方法が変更となったため、外国人数を人口に加えています。	

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
要支援・要介護認定者数の推計				高齢	【認定者数の推移】に記載	
介護保険サービス事業量及び給付費の推計				高齢	<p>[居宅サービス]※12月審査時点実績を記載しています。            *訪問介護:介護報酬改定に伴うサービス提供時間区分の見直しにより、利用者数、利用時間数ともに減少がみられており、給付費は前年を下回っています(対前年比:介護 95.6%、予防 80.6%)。            *通所介護:市内・近隣市の事業所開設及び要介護認定者数の伸びにより、事業量・給付費とも増加しています(対前年比:介護 114.6%、予防 133.7%)。            *訪問看護:医療ニーズの高まりとともに、介護報酬改定に伴う時間区分毎の報酬や基準の見直しにより、比較的軽度者の利用増加がみられ、給付費の伸びがみられます(対前年比:介護 107.6%、予防 140.8%)。            短期入所生活介護等:居宅介護サービス受給者数の伸びに伴い、利用者数、利用日数に伸びがみられ、介護給付においても給付費に伸びがみられています(対前年比:介護113.9%)。            [地域密着型サービス]            *定期巡回・随時対応型訪問介護看護:平成24年4月創設のサービスですが、12月審査実績は15名(計画人数と同数)となっており、給付費の伸びがみられています。            *夜間対応型訪問介護:上記新サービス創設により給付費の減少を見込んでいましたが、事業量・給付費ともに引き続き伸びており、対前年比123.6%となっています。            [施設サービス]            *老人保健施設:市内施設整備はないものの近隣市に開設したことにより、対前年比111.7%となっています。施設サービス全体では、対計画値73.0%(計画値75.0%)となっており、見込み値とほぼ同一の推移となっています。            [総括]            給付費は介護報酬改定及び後期高齢化率の上昇に伴う認定率の増加により、対前年比103.6%の伸びとなっています。計画値との比較においては、73.1%(計画値75.0%)の伸びとなっており、ほぼ見込み値での推移となっています。</p>	



健康福祉総合計画2012  
事業実施状況（平成25年度）

平成26年3月5日  
健康福祉総合計画推進会議  
資料2

長計施策																																																						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度																																																
健康福祉総合計画事業																																																						
地域支援事業の実施				高齢	生活機能評価チェックリスト未回答者に対して訪問事業を実施し、必要に応じて在宅介護支援センターへの紹介を行いました。平成24年度から一次予防事業について事業会計を一本化し、幅広い意味での健康づくり事業に位置づけて開始、し介護保険料への影響を抑えました。																																																	
第1号被保険者保険料の見込み				高齢	<p>○平成25年度介護保険料収納状況(25年12月調定) (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額</th> <th>収納額</th> <th>収納率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度特別徴収</td> <td>1,691,097,300円</td> <td>1,430,273,100円</td> <td>84.57%</td> </tr> <tr> <td>普通徴収</td> <td>275,139,500円</td> <td>213,747,100円</td> <td>77.68%</td> </tr> <tr> <td>現年度 合計</td> <td>1,966,236,800円</td> <td>1,644,020,200円</td> <td>83.61%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越</td> <td>51,321,130円</td> <td>8,381,000円</td> <td>16.33%</td> </tr> <tr> <td>総合計</td> <td>2,017,557,930円</td> <td>1,652,401,200円</td> <td>81.90%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平成25年度介護保険料収納見込み(26年2月12日現在) (内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額</th> <th>収納額</th> <th>収納率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度特別徴収</td> <td>1,680,087,200円</td> <td>1,680,087,200円</td> <td>100.00%</td> </tr> <tr> <td>普通徴収</td> <td>278,056,400円</td> <td>236,347,900円</td> <td>84.99%</td> </tr> <tr> <td>現年度 合計</td> <td>1,958,143,600円</td> <td>1,916,435,100円</td> <td>97.86%</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越</td> <td>51,234,700円</td> <td>8,381,000円</td> <td>16.35%</td> </tr> <tr> <td>総合計</td> <td>2,009,378,300円</td> <td>1,924,816,000円</td> <td>95.79%</td> </tr> </tbody> </table>		調定額	収納額	収納率	現年度特別徴収	1,691,097,300円	1,430,273,100円	84.57%	普通徴収	275,139,500円	213,747,100円	77.68%	現年度 合計	1,966,236,800円	1,644,020,200円	83.61%	滞納繰越	51,321,130円	8,381,000円	16.33%	総合計	2,017,557,930円	1,652,401,200円	81.90%		調定額	収納額	収納率	現年度特別徴収	1,680,087,200円	1,680,087,200円	100.00%	普通徴収	278,056,400円	236,347,900円	84.99%	現年度 合計	1,958,143,600円	1,916,435,100円	97.86%	滞納繰越	51,234,700円	8,381,000円	16.35%	総合計	2,009,378,300円	1,924,816,000円	95.79%	
	調定額	収納額	収納率																																																			
現年度特別徴収	1,691,097,300円	1,430,273,100円	84.57%																																																			
普通徴収	275,139,500円	213,747,100円	77.68%																																																			
現年度 合計	1,966,236,800円	1,644,020,200円	83.61%																																																			
滞納繰越	51,321,130円	8,381,000円	16.33%																																																			
総合計	2,017,557,930円	1,652,401,200円	81.90%																																																			
	調定額	収納額	収納率																																																			
現年度特別徴収	1,680,087,200円	1,680,087,200円	100.00%																																																			
普通徴収	278,056,400円	236,347,900円	84.99%																																																			
現年度 合計	1,958,143,600円	1,916,435,100円	97.86%																																																			
滞納繰越	51,234,700円	8,381,000円	16.35%																																																			
総合計	2,009,378,300円	1,924,816,000円	95.79%																																																			
低所得者への配慮																																																						
介護保険料の所得段階設定				高齢	<p>第5期介護保険事業計画(平成24年度～267年度)で、市民税非課税世帯で課税年金収入額と合計所得金額の合算額が120万円以下の方の段階を新設しました(第3段階)。 これによって、平成25年度は、1,535人(5.2%)の負担軽減が図られました。(25年12月調定現在)</p>	継続実施																																																

健康福祉総合計画2012  
事業実施状況（平成25年度）

平成26年3月5日  
健康福祉総合計画推進会議  
資料2

長計施策						
健康福祉総合計画施策	重点	新規	拡充	担当課	(25年度実績)	26年度
健康福祉総合計画事業						
介護保険利用者負担額助成事業				高齢	助成実人数は、平成24年度は969人(平成23年度898人)となり年々増加する結果となりました。平成25年度の助成実績(4月～1月)は、助成実人数920人(前年同期932人)、21,862,640円(対前年比105.0%)となっており、負担軽減を図っています。	継続実施
通所サービス利用者食費助成事業				高齢	助成実人数は平成23年度803人から、平成24年度は838人となり、助成対象者が毎年増加する結果となっています。平成25年度助成実績(5月～1月)は、助成実人数806人(前年同期779人)、助成金額10,081,400円(対前年比105.2%)となっており、低所得者の負担軽減を図っています。	継続実施